



平原卓穂\*

# 家電機器の開発動向

Trend of Development for Home Appliances

Takuho Hirahara

## 要 旨

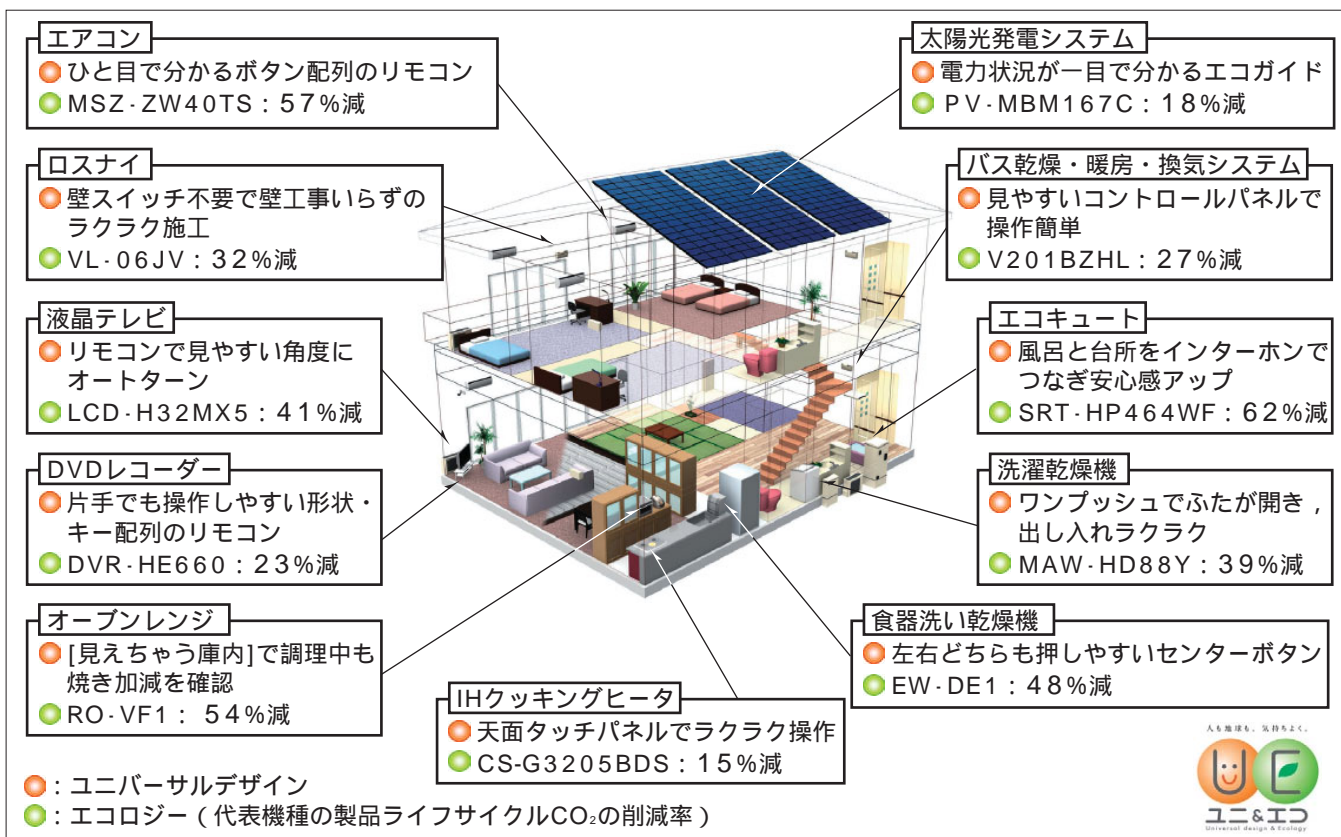
21世紀は循環型社会への幕開けと言われている。暮らしの豊かさを求める経済活動と地球との共生の両立が求められる。三菱電機では、“だれもが使いやすい製品デザイン(ユニバーサルデザイン)”と“環境負荷低減 エコロジー”の両立を目指した製品コンセプト“ユニ&エコ”を設定した。

ユニバーサルデザインの実施に当たっては、多岐にわたるユーザーの実使用を想定した開発評価システムを構築し、デザイナーと設計者双方が開発初期からこのシステムを共用し製品設計に展開している。既に多くの製品に適用し、一層のユニバーサル性を実現している。エコロジーについては、製品使用時の省エネルギーはもとより、製造時、製品廃却時の環境に対する負荷も考慮した製品開発を進めている。よりリサイクルしやすい環境適合設計(Design for

Environment : DfE)”を積み上げ、家電品から家電品への“自己循環 100%リサイクル)”を目指して開発を続けている。

循環型社会を実現するため、リサイクル技術を蓄積する一方で、省エネルギーのための、冷凍サイクル技術やモータ・インバータ等の電気・電子デバイス技術といった“コア技術”の強化も不可欠である。さらに、IT・ネットワーク技術を活用した、トータルシステムでの効率、利便性の追求も重要テーマとなりつつある。

成熟した家電製品ではあるが、安全、品質、環境に配慮した顧客に安心して使用される機器開発をベースとして、顧客の心に響き、顧客の顕在/潜在要求によりこたえ得る新しいコンセプトを提案し実現することが我々の使命である。



## 家まるごと“ユニ&エコ”(UD採用とCO<sub>2</sub>削減による快適な住空間の実現)

製品ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、使用する家電製品等を、使用するときのエネルギーだけでなく、資源の採掘・製造・輸送・使用・リサイクルまでの製品サイクル全体の環境負荷をライフサイクルアセスメント(LCA)評価技術により把握したものを指す。表記ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減率は過去10年前後の当社製品と比較して算出している。記載11機種合計の新旧比較で約49%のCO<sub>2</sub>を削減している。